

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

株式会社 上甲育雛場

～夢と可能性を持って事業に取り組む～

◇所在地 大洲市長谷

◇電話 24-7165

がんばる大洲企業

弊社は、創業から51年を迎える会社で、採卵鶏の育雛（卵からふ化し35日齢のひな、育成（35日齢）出荷するまで育てたひな）の販売を行っています。平成3年4月に法人化し、現在の「株式会社 上甲育雛場」となりました。

ひなの年間の取り扱い数は100万羽を数え、主に中国、九州地方に出荷しています。常時30万羽を施設で育成しています。「鶏のひな」という非常にデリケートな生き物を取り扱っているため、細心の注意を払うことが必要で、特に温度管理と防疫対策には神経を使います。

また、良質なひなを育てるために、育雛と育成を隔離し、さらにひなの履歴情報を公開することで、高い信用を得ています。

2008年9月のリーマン・ショック以来、飼料代の高騰が続いていて、現在は高止まりの状態となっています。畜産業界全体の流れですが、コストアップを強いられながら、それを商品に転嫁できないため、厳しい経営状況が続いて



います。

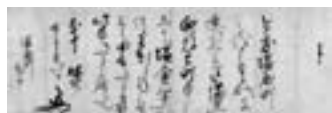
また、毎年冬になると、鳥インフルエンザが日本のどこかで発生していて、油断ができません。恐れを感じています。施設の改修、消毒としての石灰購入などの防疫対策費も、負担増の要因となっています。

このように厳しい環境下におかれる畜産業界ですが、業界で生き抜くためには、企業に体力をつけ、ひなのブランド化を図りながら、さらなる信用を得ていくことが必要だと思えます。

現在、弊社は大洲の他に西条、今治にも育成施設を所有していて、四国でも業界2位の規模となっています。これからも健全経営に努め、事業を拡大し、地元雇用を増やしていきたいと考えています。

今後は、夢と可能性を持って事業に取り組む、大洲で頑張っている企業の先駆者としてまい進していきます。

文化財



しおや まちそうせいほうじょう

塩屋町創成褒状

大洲市指定有形文化財（古文書）

大洲市立博物館蔵

塩屋町創成褒状は、慶長10(1605)年7月28日、藤堂高虎の家臣である田中林斎が塩屋町の町役人に宛てて出したもので、大洲城下で塩を売買する町を速やかに設置したことへの称賛とともに、塩屋町以外での塩の売買を禁止するということを伝えた書状です。

塩屋町（現志保町）の町名は、江戸時代には塩町と呼ばれ、明治以降は志保町と呼ばれるようになりますが、これは「しお」が「しほ」と訛ったことから町名が変化したものと伝えられています。

この文書は、大洲城下における町人町の創設について記録された一番古い記録であることや、高虎に関する文書が少ないことから、貴重な史料であると言えます。

（昭和53年3月31日指定）

野鳥



キンクロハジロ

（金黒羽白）

カモ目カモ科

全長42cm

冬や渡りの季節に出会える中型のカモです。ほとんど単独で池や川に出没しますが、多い地方では数百羽単位で群れを見ることができます。カモの種類も2グループに分けられ、主に草食系は、頭だけを水中に突っ込んで水草などを食べていますが、キンクロハジロなどの肉食系は、絶えず潜って貝や甲殻類、魚などを食べています。そのため浮かんでいても、やや体が沈んで見えます。また草食系の派手な色合いに対して、肉食系は羽の色を見せるのはあまり効果がないのか、地味な色をしています。名前の由来は、金は目の色、体の黒、翼やお腹の白と、見たままの姿で付いたようですが、先人たちの観察や感性によって与えられた名前は、意味が深く素晴らしいものだと思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

いんじちは市長です

「龍馬がゆくー!大洲」150年記念事業



坂本龍馬が土佐藩の殻を脱ぎ捨て、日本全国に維新の風を巻き起こすきっかけとなった、土佐藩脱藩から150年を迎えます。

当時、龍馬は26歳。鎖国により、日本独自の文化と時の流れを300年にわたり守ってきた江戸幕府が、黒船の到来により西洋文明の荒波に巻き込まれようとしていました。

今のように、インターネットで世界の動きが分かる時代ではありません。江戸の千葉道場へ剣術の修行に行き、黒船など世界のさまざまな新しい息吹に触れた龍馬には、藩を中心とする当時の日本が小さく見えたのだらうと思います。

大洲は、古くからの歴史が今も多くの人々の生活につながり、文化となっています。この機会に、150年前の大洲の歴史を身近なものから探し出す一年にしたいと考えています。戦争で焼け野原となった多くの都市は、60年を少し越えるだけの歴史しか持っています。肱川に育まれた大洲は戦災など歴史のギャップが無く、江戸、明治、大正、昭和、平成の歴史を積み重ねてきています。大洲の100年、200年の歴史を、坂本龍馬の歩んだ道のりとともに、市民のみなさんと思ひ描いてみたいものです。

おおずの女性く輝いて今

平成23年度「健康食フェア」

地域の人たちの健康を考え、健康食を普及することを目的に、平成23年度「健康食フェア」(大洲市食生活改善推進協議会主催)が2月2日(木)、大洲市総合福祉センターで開催されました。

大洲市食生活改善推進協議会の富永裕代(とみながよ)会長は「今年は、地産地消をベースにした健康食をテーマにしている。本日は、各支部のヘルスメイト(食生活改善推進員)さんに大洲産の白菜、大根、栗などを使用して料理してもらった。よく味わってもらいたい」と述べました。

次に、来賓あいさつで清水市長は「今年建設予定の給食センターでも、地産地消を目指している。献立から考え、大洲産で旬の食材を50%以上は使用していきたい。みなさんには、おいしいものを食べて元気になってもらいたい。今年は大洲市食生活改善推進協議会が150周年で、市外からも多くの方が大洲を訪れると思う。大洲の旬なものを食べてもらい、また来てもらえるようなイメージづくりが大切になる」

と食育の必要性と、イベントへの意気込みを語りました。

その後、参加した人たちは、各支部のヘルスメイトさんが作った料理を、一品ずつお皿に載せていき、試食会や交流会を楽しみました。並んだ料理には、栗入り炊きおこわ、しいたけの肉詰め焼きや冬野菜のみそ汁などがあり、健康を意識した工夫が見受けられました。

「健康食フェア」は今年で14回目を迎え、大洲市でも支援を行っています。



12 / 11(日)
～1 / 14(土)

冬の夜を華麗に彩りました ～鹿野川のイルミネーション～

本格的な冬のシーズン到来とともに、鹿野川大橋の袂に設置されるイルミネーションが、今年も冬の夜を華麗に彩り、多くの人の目と心を癒しました。

このイルミネーションは、肱川愛あい会のみなさんが約1万個の電球を組み合わせせて設置したものです。その華やかな彩りは、訪れる多くの人から大変好評です。

凍えそうな寒さにも関わらず、訪れた人の中には、イルミネーションを背景に記念撮影をする姿も見られました。

毎年12月中旬から翌年1月中旬ごろまでイルミネーションを設置する予定なので、今回見逃した人は、鹿野川大橋の袂まで足を運んで、この華麗な電飾の世界をぜひご覧ください。



きれいに彩られたイルミネーション

不審者侵入に備えて ～河辺小学校避難訓練・防犯教室～

1 / 13(金)



本番さながらの不審者対応

河辺小学校で不審者対応の避難訓練と防犯教室が実施されました。訓練は全校体育の時間中、運動場に不審者が侵入したという想定で行われました。教職員は緊急対応マニュアルに従って児童を体育館に避難させ、110番通報後に警察官が駆けつけるまでの対応など、さすまたを用いた本番さながらの訓練が行われました。

その後、防犯教室が行われ、誘拐されない方法や子どもがとれる安全な行動について学習しました。『いかない』『のらない』『おおごえをだす』『すぐにげる』『しらせる』という5つの対処法を「いかのおすし」の合い言葉で教えてもらい、児童にとっていざという時に役立つ防犯教室となりました。

1 / 15(日)

命を守るために素早い措置を ～AED講習会～

普段から救命救急法を学習しておこうと、白滝公民館戒川分館でAED講習会が行われました。講習会では、講師の消防署職員をはじめ、白滝地区と戒川地区の女性消防団員8人も参加しました。

戒川地区は山間部に位置し、救急車の到着時間が平野部と比べて遅れることが予想されるため、地元住民の迅速な対応が必要になります。講習会に参加した住民は、講師の先生から説明されるAEDの操作方法を真剣に聞いていました。

総勢23人の参加者は、その後も講習会の終了時間まで操作の確認を繰り返し行い、万が一に備えて実技に取り組んでいました。



蘇生術を学ぶ参加者

龍馬イベント協賛支援事業 募集中!

「龍馬がゆく!大洲」150年記念事業に関連して、イベント実施期間中に、大洲市内で龍馬に関係する特色あるイベントを実施したいみなさんを、大洲市が協賛し、補助をして応援します。

【対象団体】

- ・原則、市内に住所のある団体
- ・市内に住所のある企業やNPO法人など

【要件】

- ①坂本龍馬に関する事業（龍馬をイメージできる事業を含む。）
 - ②新規または新規性のある事業
- ※①と②の要件を満たすことが必要です。

【補助金額】

1事業あたり上限50万円以内

【対象経費】

反省会、慰労会などの飲酒を伴った飲食経費を除いた事業経費

【募集期間】

4月1日(日)～4月30日(月)

【申込方法】

申請用紙は商工観光課および各支所地域振興課で用意しています。必要事項を記入の上、担当まで申し込んでください。

【協賛支援事業(例)】

- ・龍馬絵画展
- ・龍馬そっくりさんコンテスト
- ・龍馬俳句大会 など

【問い合わせ先】

- 商工観光課観光係
- ☎24-1717 (直通)
- 長浜支所地域振興課
- ☎52-1111 (内線41)
- 肱川支所地域振興課
- ☎34-2311 (内線211)
- 河辺支所地域振興課
- ☎39-2111 (内線130)



あかれんが感謝祭&ポコペンまつり

おおず赤煉瓦館では、日頃のご愛顧を感謝して、さまざまなイベントを実施します。

ポコペン横丁では、お菓子まきや恒例となったベイゴマ大会など、お年寄りから子どもまで、みんなが楽しめるイベントが盛りだくさんです。

【日時】 3月18日(日) 午前10時～

【場所】 おおず赤煉瓦館・ポコペン横丁

【問い合わせ先】

商工観光課 ☎24-1717 (直通)



オオズキャンドルナイト#3 ～桜舞う大洲城～

キャンドルアートや灯籠・ちょうちんで、大洲城周辺を彩ります。今年は2夜連続で開催します。夜の大洲城を散策して、新たな魅力を感じてください。グランドフィナーレは花火も上がりますよ!

【日時】 3月17日(土)・18日(日)

午後5時～9時

【場所】 大洲城本丸周辺

【主催】 オオズ☆ロケット団

【問い合わせ先】

商工観光課 ☎24-1717 (直通)

